

第2回住民部会ワークショップを振り返って

WSの感想

- やはりすごいプロジェクトだなーと思った。いろいろ楽しみだ。参加してよかった。
- 今日の話し合いでーヶ所全く知らない所、ーヶ所行ったこともない所がありビックリしました。
- 皆さんが思っている問題点が同じである事が分かった。 ○ 学生さんのマナーの良さ（言葉遣い、立ち振るまい）
- ワークショップの仕方を経験ができた。 ○ 学生さんが居るおかげで、場がなごんでいた。
- なんとなく課題がはっきりしてきた気がする。 ○ 地域の事をあまり知らないの参考になった。
- たくさん目で見聞きを持ち寄ることによっていろいろなことがわかって良かった。
- 皆さん、八千代台が「好き」な事がわかりました。（良い所と悪い所も含めて）
- 各地区のプレゼンテーションが上手で、長所短所がよくわかった。
- 色々な世代で自分の知っているまちについて話を聞いて、気付きもあり楽しかったです。
- 長いこと八千代台に住んでいますが、改めて感じるところが多数あります。
- 希望通りにベンチを設置しているのは、住民の方々からの働きかけで設置していることを知ることができた。
- スタッフ以外の若者がほとんどいない。地元の若者目線はいらぬのか？

今後このWSに期待していること

- 1時間くらい話し合いでこれだけ意見が出てくるのだから、子どもの目線とか違う目線からの話が楽しみです。
- 自分の地区だけでなく、他の地区や八千代台全体についても話し合いをしたい。
- 次回のまち歩きは新しい発見が出来ればいいなと思います。
- 地元の若者や学生との交流、意見交換を。 ○ 住民主体でのまちおこしに期待しています。
- 住民の交流や活動が活発になるといいです。 ○ 八千代台全体が益々発展できればいいなと思います。
- 高齢者の住みやすいまちづくりや子どもたちの楽しめるまちづくりなど
- お金をかけずに、課題点を克服する施策を見つけていきたい。
- 今回の進め方で煮詰まっていけば興味ある地図ができそうな感じがしました。
- 同じような問題・悩みを抱えているまちのまちづくり情報を知りたい。
- すばらしいマップが出来上がり、改革できたらいいなと思う。
- 良いところの発掘をどのようにするか、悪いところはどのように開発するか。
- 机上のものにとどまらず、現況をよく知り、この先につなげていきたい。

WSで発言できなかったこと、補足説明したいこと

- 「どんなまちにしたいのか」という出発点が、あるいは終着点はまだ見えていない気がします。
- これからどんな街が理想なのか、じっくり考えたいと思います。
- 八千代緑が丘は若い街。八千代台と比べて活気がある。 ○ 実籾寄りのガードの危険点
- 無形文化財のカラスビシャが諏訪神社の行事にあること。 ○ 八千代台をミリオクある街にしよう！
- ユアエルムの存在を忘却していた。町内最大の生活の基盤でもあり楽しみ場です。
- 大学生の皆様、ありがとうございます。意見をまとめるのは大変だと思います。一緒に頑張りましょう。
- 住宅地でありながら商業施設等もあり、暮らしやすい地域である。
- 仕事一筋に働いた我々世代の子供たちに独身者が多い気がする。その責任を考えたい。

次回以降の主な流れ

6月27日(月) 第1回住民部会 ワークショップ(済)	7月12日(火) 18時～ 第2回住民部会ワークショ ップ(済) 【場所】八千代台東 南公共センター5階ホール ○机上フィールドサーベ(地域 の魅力点・問題点等の発掘)	7月18日(月・祝) 15時～ 第3回住民部会ワークショ ップ 【場所】八千代台文化セ ンターホール ○まち歩き(地元の魅力点・問 題点等の発掘)	8月11日(木・祝) 15時～ 相互まち訪問 ○一定期間を設けて住民 独自にまち歩きを実施	9月1日(木) 18時～ 一次資料づくり ○八千代台地域の魅力点・ 問題点の見える化
10月上旬 成果の中間とりまとめ ○子供目線の魅力(八千代 よいとこカルタ等)整理	10～11月 八千代台地域のまちづく りコンセプトの検討 ○これまでの成果を踏まえ てコンセプト(キャッチフ レーズ)を作成	11～12月 アクションプラン の検討(1～2回程度) ○グループワークで市民 や行政が実現可能なプ ランを検討	12月上旬 最終成果のとりまとめ ○アクションプランを整理 し、地域的価値とまちづく りビジョンを市民全体で 共有する	他部会や行政等と 適宜、連携しながら、 まちづくりに展開します

◇お問い合わせ先◇

八千代台まちづくりプロジェクト 事務局 熊谷・齊藤
電話(熊谷):070-3824-8930 E-Mail:yachiyodai.machi.project@gmail.com
〒276-0031 八千代市八千代台北 1-12(八千代台自治会事務所内)

発行者:日本大学理工学部まちづくり工学科岡田研究室
発行日:平成28年7月18日

住民部会ワークショップ 第2回ニュースレター

八千代台まちづくりプロジェクト



八千代台まちづくりプロジェクトによる「第2回住民部会ワークショップ(以下:WS)」が、平成28年7月12日(火)に開催されました。

第2回住民部会WSでは、日本大学理工学部まちづくり工学科の岡田研究室の協力のもと、4地区に分かれてグループワークを実施しました。グループワークでは、担当地区の魅力点や問題点、気になる点を住民の視点、学生の視点から抽出・整理するとともに、第3回住民部会WS～まち歩き～に向けた『まち歩きルート』を作成しました。

次回はよいよ担当地区を対象として、地域住民のみなさんと学生で、『まち歩き』を実施します。八千代市民として八千代台地域のまちの魅力や問題点をきちんと把握して、新たなまちづくりに貢献していきましょう。

住民部会WS 当日プログラム

7月12日(火)18:00～20:00

【場所】八千代東南公共センター5階ホール

1. 開会
◇ 開会のあいさつ、趣旨説明
2. 部長あいさつ
◇ 部長あいさつ
◇ ワークショップの進め方
3. WS開催(グループワーク)
◇ 自己紹介
◇ 担当地区の魅力点・問題点等の抽出
◇ 魅力点・問題点に関する中間発表
◇ まち歩きルートの作成
◇ とりまとめ結果の発表
4. 閉会
◇ 振り返りシートの記入

八千代台まちづくりプロジェクトの趣旨

◆プロジェクト実施の背景

わが国では人口減少社会に突入し、地域経済の維持や人口減少問題の克服といった、新たな社会・都市問題に直面したことを背景に、平成26年11月に日本政府によって「まち・ひと・しごと創生法」が策定されました。これを受け、八千代市では平成28年3月に「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「絆(つな)がる・創る“和”のまち八千代」を基本理念に掲げ、その実現方策として「八千代台地域活性化人づくりまちづくり事業」を展開することとなりました。そのため、当事業の推進体制として、当プロジェクト「八千代台まちづくりプロジェクト」が発足するに至りました。

◆まちづくりを行うための組織づくり

当まちづくりプロジェクトは、地域の資源・まちを育てる『住民部会』、商売繁盛・人づくり仕事づくりを目指す『商業部会』、まちの分析や事業検討を行う『まち分析部会』の3つの部会で構成しています。(右図参照)



図 まちづくりプロジェクトと各部会の位置づけ

住民部会ワークショップ～グループワーク開催～

岡田研究室の取組事例(岐阜県恵那市や東北復興プロジェクト等)やWSの実施概要や地域の魅力発掘方法などの留意事項について説明いただきました。また、担当地区に分かれてのグループワークでは、地区の魅力点・問題点・気になる点の抽出・整理・発表を行い、様々な魅力や課題が確認されました。その後、次回WSで実施予定である「まち歩き」のためのルートを作成し、各地区の代表者によるプレゼンテーションを行いました。



岡田教授によるWS事例紹介

岡田研究室の取組事例や八千代台におけるWSの留意点を説明いただきました



地区の魅力等の発表状況

WSを通じて住民のみなさんが発掘した担当地区の魅力点や問題点を発表しました



まち歩きルートの発表状況

住民のみなさんが発掘した魅力や問題点を現地で確認するためのルートを作成しました

北東地区

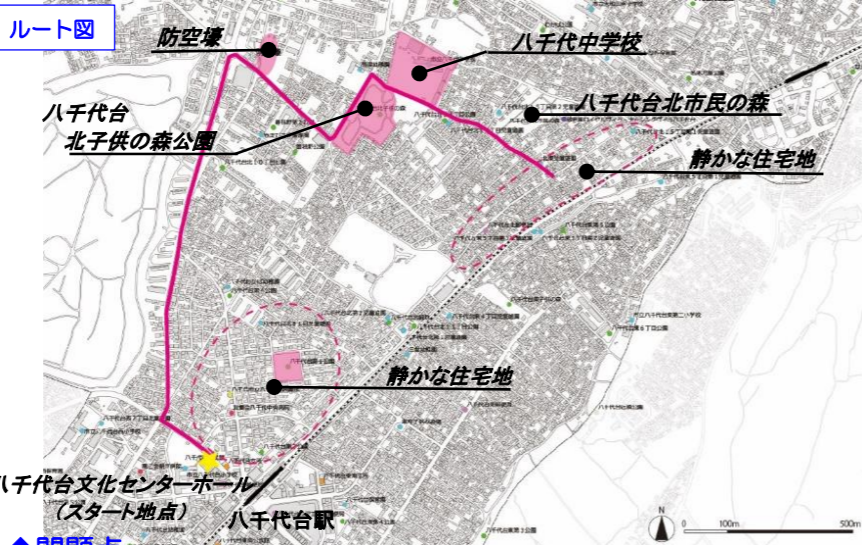
まち歩きルートの検討結果

◆まち歩きルートの考え方

「ベッタタウンのような住むだけの場所にはしたくない」を合言葉に地域の魅力と問題点を探る。

◆地域の魅力

- ・八千代台来た北子供の森公園、八千代台北市民の森など緑が多く気持ちが良い。
- ・静かな住宅地。
- ・八千代台小学校通りや高津東第二公園の桜。
- ・スーパーが多い。
- ・おいしい洋菓子屋やパン屋がある。 等



◆問題点

- ・空き家が増えている。
- ・住宅街しかない。
- ・地域の歴史が知られていない。
- ・買い物をする場所がない。
- ・夜間暗くて危険。
- ・公園に緑はあるが遊具がない。
- ・線路が町を遮断している。
- ・公園に駐車場がない。

◆気になる点

- ・ご近所づきあいが希薄である。
- ・若者や子供たちの遊ぶ場所が少ない。
- ・西口から東口に抜ける地下道が気になる。
- ・自衛隊の落下傘訓練。

東地区

まち歩きルートの検討結果

◆まち歩きルートの考え方

地域の魅力となる希望通り（ベンチなど）や駅前商店街のほか、問題点（道路幅や空き店舗など）の現状をきちんと把握する。

◆地域の魅力

- ・水がおいしい。
- ・郵便ポストのある休憩所。
- ・住民の意識が高い（高齢者と子育て世代の交流が盛ん）。
- ・公共施設が多く、文化度が高い。
- ・病院と美容院が多い。
- ・都心に一時間で歩いて便利。
- ・犯罪が少ない、静かな住宅街。
- ・緑が多く環境が良い。特に、八千代台近隣公園周辺。
- ・希望通りにベンチが多い。 など



◆問題点

- ・高齢化が進んでおり、子供が減っている（少ない）。
- ・町内会加入率が63%程度で普段顔の見えない人が多い。
- ・住民の年齢層が接近しているため高齢化が一気に進む。
- ・自衛隊の騒音が気になる。
- ・施設の老朽化が進んでいる。
- ・道路政策が悪い乱開発の町であり、歩道も歩きにくい。
- ・道路が狭く、さらに横につながる道も少ない。
- ・空き部屋、空き店舗が多い。
- ・地下道が殺風景、寂しい。

◆気になる点

- ・自衛隊が邪魔で発展できない。落下傘訓練が見える

西地区

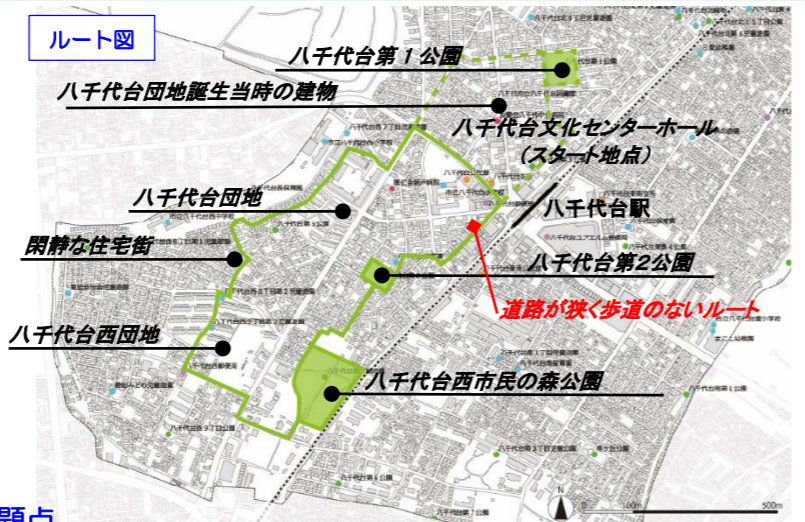
まち歩きルートの検討結果

◆まち歩きルートの考え方

地域の魅力である「市民の森」や八千代台団地、八千代台西団地などの団地群を回遊する。また、時間に応じて八千代台団地誕生当時の建物も確認する予定である。

◆地域の魅力

- ・緑や広場が多くきれい（諏訪神社など）。
- ・閑静な住宅街。
- ・チンピラが少ない。
- ・市外への道路アクセスが良い。
- ・線路沿いから電車が見える。
- ・第1公園は山があり、広く整備されている。 等
- ・昼間家に人がいる。
- ・住民性が良い。



◆問題点

- ・魅力ある店が少なく、西の商店街の盛り上がりがない。
- ・道路が狭く、歩道も整備されていないので危険である。
- ・近所づきあいが少ない。
- ・西団地の建物が古く、空き部屋も多い。

◆気になる点

- ・道路のデコボコが目立つ。
- ・商店街の科回転している店舗が少ない。
- ・人が自然に集まれる場ある（公園や市民の森等）。
- ・地下道が暗くて狭い。

南地区

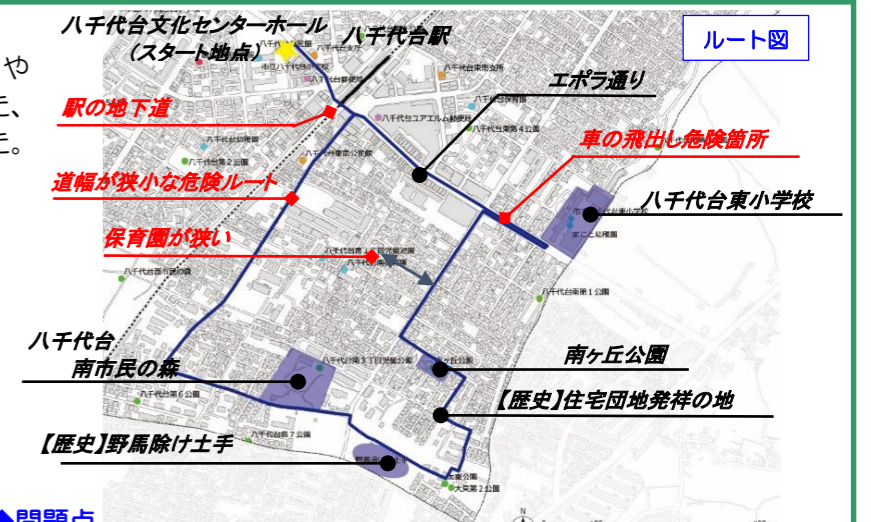
まち歩きルートの検討結果

◆まち歩きルートの考え方

主要な「地域の魅力（市民の森、野馬除け土手など）」や危険箇所などを確認するためのルートを設定した。また、街歩きの際には商店街の衰退状況も確認する方針とした。

◆地域の魅力

- ・都心に一時間で移動できる八千代台駅。
- ・整備の整ったエポラ通り。
- ・新たに整備された八千代台東小学校（防災含む）。
- ・地域の歴史を継承する住宅団地発祥の地。
- ・八千代ふるさと50景の「野馬除け土手」。
- ・自然が豊かな八千代台南市民の森。 等



◆問題点

- ・地下道（八千代台駅）が暗くて立ち寄りづらい。
- ・八千代台（東口）から南3丁目の間にある道路が危険なので、一方通行にするなどの対策を講じたほうが良い。
- ・エポラ通りと希望通りとの交差点周辺で事故が多く危険。
- ・保育園の有効量（保育人数）を増やしてほしい。

◆気になる点

- ・住民間のつながりが希薄である。
- ・スーパー等に行っても人の数が少なく感じる。
- ・商店街の2階より上が空いた状態となっている。